Web コンテンツとプログラミング

(注釈つきシラバス)

香川 考司

2007年4月11日

1 ゼミの概要

このゼミではインターネット (特に World Wide Web) で利用されるグラフィックス・アニメーション・プログラミング言語などに関する新しい規格 *1 ・ツールなどについて調べ、それを利用してコンテンツやプログラム *2 を作成します。

ツールは基本的にフリー (無料)で利用できるもの*3を利用します*4。利用する規格・プログラミング言語の例として、JavaScript, Java, SVG, Flash, X3D などが考えられますが、それ以外のものを利用しても、もちろん構いません。

2 ゼミの到達目標

新しい技術は、それに関する体系的な教科書などは出版されていないのが当然で、雑誌の記事やインターネット上の断片的な情報*5を自分で検索し、収集整理する必要があります。また、グループで作業するためには調べたことを他人にわかり易いようにうまくまとめて伝えることも必要になります。このゼミでは、このような能力を身に着けることを目標とします*6。

^{*1} 基本的には特定のプラットフォームに依存しないものを想定しています。Windows など、特定のプロットフォームでしか利用できないものは、あまり望ましくありません。

^{*2} 内容は自由ですが、アニメーションなど視覚的なものが、作る時もおもしろいでしょう。

^{*3} 有料ソフトウェアの体験版などは含みません。

^{*4} 最初の 2 回の発表では、調べてもらいたいテーマのリストを用意します。最後の発表では、リストに挙げた以外のテーマを自分で探してきてもらいたいと思っています。最近増えてきた Web アプリケーション (Google マップやGoogle Docs & Spredsheets のような Web ブラウザ上で動作するアプリケーション)や、一年生前期では難しいかもしれませんがプログラミングに関するツールを歓迎します。

^{*&}lt;sup>5</sup> Google (http://www.google.co.jp/) Yahoo (http://www.yahoo.co.jp/) などをフル活用します。新しい 技術はたいてい英語の解説しかないので、英語の文章に尻込みするようでは、やっていけません。3回目の発表では 一般に情報が入手しにくい(本がない・日本語の情報がないなど)テーマほど評価は高くなります。

^{*6} 最近のソフトウェアの作成作業は、実際にプログラムを書く時間よりも、調べ物をしている時間の方が長いくらいです。

3 ゼミ及び学習の方法

最初の数回は講義形式でテーマの例*⁷を提示します。その後はグループに分かれて*⁸テーマを設定し、情報を収集します。情報収集の作業は基本的に授業時間外に行います。1回目の発表でいちど調査結果を発表し、グループ間で質疑応答します*⁹。2回目の発表では1回目の発表の結果*¹⁰を利用し、コンテンツを作成し発表します。3回目は別のテーマで調査し、コンテンツの作成まで行います。またコンテンツの作成方法*¹¹などを最終的にレポートとして提出します*¹²。ただし、発表回数は受講者数や発表の進行状況で変更することがあります。

4 単位の認定方法

発表 (50 点)・最終レポート (30 点)・質問や討論への参加 (20 点)で評価します*13。

5 その他

質問・相談などは …

オフィスアワー 水曜日 10:20~11:20

この時間は研究室(1号棟7F北側)にいます。

メールアドレス kagawa@eng.kagawa-u.ac.jp

授業ホームページ http://guppy.eng.kagawa-u.ac.jp/2007/Kyosemi/

コンテンツにアクセス制限をかける場合があります。

ユーザ名	
パスワード	

6 教科書・参考書など

特にありません。調べるために必要だと思う本は、自分で購入するか、図書館などで探して*14下さい。読みたいけど、図書館になく、自分で買うには高価だと思う時は相談して下さい。

 $^{^{*7}}$ プログラミング ${
m I}$ または ${
m II}$ でも扱うかもしれませんが、HTML と JavaScript を例として紹介します。

^{*&}lt;sup>8</sup> ゴールデンウィーク期間あたりから、このフェーズに入る予定です。グループは最初 <mark>3~4 名程度</mark>を想定しています。

^{*&}lt;sup>9</sup> つまり、他のグループからの質問などに答えてもらいます。その時間内に答えられない事柄は、後で補足発表してもらいます。

 $^{^{*10}}$ 自分の属していないグループが発表したテーマを利用してもらう予定です。

^{*11} あとで、同じツールを利用して作品を作成する人に参考になるものを作成することが必要です。

^{*&}lt;sup>12</sup> このレポート自体も Web で閲覧できるフォーマットで作成し、あとで公開する予定です。

^{*&}lt;sup>13</sup> 期末テストは行ないません。また、ゼミは参加型の授業ですので、<mark>無断欠席は認められません</mark>。欠席は必ず連絡して下さい。

^{*14} 探すのも課題のうちです。